

連続トークイベント #昭和99 第2回
知覧の戦中・戦後
「鹿児島県の近現代」教育研究センター 特任准教授 伴野 文亮

2024年8月11日（日）に、南九州市にあるミュージアム知覧において、連続トークイベント「#昭和99」の第2弾として「知覧の戦中・戦後」（後援：南九州市）を開催しました。当日は、2つのセッションに分けて、戦前から戦後にかけての知覧の地域史を深掘りしました。

第1部は基調講演として、伴野が「一次史料から知覧の戦中・戦後を考える」と題して講演を行い、県立川辺高等学校が所蔵する旧制川辺中学校時代の日誌や写真帖などを紹介しながら、一次史料の保全と活用を基礎とした地域史研究の意義と重要性について語りました。第2部はトークセッション「知覧の戦中・戦後」として、弊センターの中嶋晋平特任助教と知覧特攻平和会館の八巻聡学芸員がファシリテーターとなり、「特攻」をめぐる地域の歴史像や、戦争の「記憶」の継承の方法について、鹿屋における事例との比較を踏まえながら、フロアの来場者も交えて議論しました。来場者からは、知覧飛行場の建設に直接携わったときの経験談や、戦争遺児を対象とした「記憶」の継承のあり方に関する問題提起などがなされました。

今回の企画を通して、鹿児島県そして日本の近現代史を考える上で欠かせない知覧という「場」の研究を深化させることが出来ました。今後は、今回の企画を基盤として、人びとの「記憶」を含めた多様な一次史料の収集と保全に意を用いながら、知覧の戦中・戦後の歴史像を研究し、教育に活かす取り組みを続けていきたいと考えています。今後とも、皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

なお、当日の様子は、弊センターの公式

YouTube チャンネル

(<https://www.youtube.com/@%E9%B9%BF%E5%85%90%E5%B3%B6%E3%81%AE%E8%BF%91%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E6%95%99%E8%82%B2%E7%A0%94>)
にて公開していますので、ぜひご覧ください（検索バーに「鹿児島県の近現代 知覧」と入力すれば、すぐに出てきます）。



昭和20年頃の知覧を語らい、未来へつなぎませんか？
（第2回）「鹿児島県の近現代」連続トークイベント 「#昭和99」 in 知覧

知覧の戦中・戦後

2024年は「昭和99年」に当たる年です。
本イベントでは「知覧の戦中・戦後」をテーマに、知覧における戦争体験や戦後経験について参加者と共に語り合い、戦争の記憶を次の世代に伝えます。
知覧の戦中・戦後に関心のある方、ご自身の体験や記憶を語りたい方のご参加をお待ちしています。

2024年 8月11日（日） 13時～15時30分（開場 12時30分）
会場 ミュージアム知覧（シアター室）
参加費 無料
※ミュージアム知覧の展示を見学する場合は、入館料が必要です。

【プログラム】

13:00～13:05	開演、開会挨拶（川崎弘一郎 知覧特攻平和会館長）
13:05～13:45	基調講演「一次史料から知覧の戦中・戦後を考える」 （伴野文亮 「鹿児島県の近現代」教育研究センター・特任准教授）
13:45～14:00	休憩
14:00～15:20	トークセッション「知覧の戦中・戦後」 八巻聡 知覧特攻平和会館・学芸員 中嶋晋平 「鹿児島県の近現代」教育研究センター・特任助教 × 会場のみなさま
15:20～15:30	閉演、閉会挨拶（丹羽謙治 「鹿児島県の近現代」教育研究センター長）

主催：鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」教育研究センター 後援：南九州市

お問い合わせ
鹿児島大学法文学部附属「鹿児島県の近現代」教育研究センター
☎099-285-7532 ●kingendajim@leh.kagoshima-u.ac.jp

「鹿児島県の近現代」連続トークイベント
（第2回）は2024年に鹿児島県内で
全6回開催予定です。
（鹿児島県の近現代）教育研究センターへ

